

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／入門演習 F2a (Introductory Seminars F2a)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	文学批評入門 —言葉の森へ分け入るために		
担当者名 (Instructor)	神野 紗希(KOUNO SAKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	PCW1810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

他ジャンルでも活用可能な、文学研究の基本的なレトリックや批評理論を、具体的な作品の読み解きを通して学ぶ。文学作品に用いられている技術について、批評的に読み解く視点を獲得することで、これから大学でさまざまな研究をするための「読む力」を養成する。

I learn a basic review theory to be necessary in the case of grammatica through the reading and understanding of the concrete work. About a technique used for a literary work, I get a viewpoint to read for criticizing it, and to solve. I will train study, "power to read" to study it from now on at a university.

#### 授業の内容(Course Contents)

テキスト『批評理論入門』第1章の「小説技法編」で紹介されている技法(「冒頭」「ストーリーとプロット」「語り手」「焦点化」「時間」「声」「イメージ」「異化」……)から各自の担当項目を決める。その項目に沿って、指定された小説のうち各自が対象とする作品を選び、発表を行う。演習の対象とする小説は太宰治「女生徒」芥川龍之介「藪の中」など、短編4～5作を予定している。

I decide a charge item of each person from introduced technique in "novel technique" of "introduction to review theory" Chapter 1. Along the item, I choose the work which each person intends for among appointed novels and announce it. The novel which the practice intends for schedules a short story 3-4 product.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス  
入門演習の進め方 演習とは何か
2. 論理的文章 事実と意見
3. 発表の基本 問いの立て方
4. 資料の探し方 引用の方法
5. チャレンジ 俳句創作&句会
6. 学生による発表・討論 「冒頭」「結末」
7. 学生による発表・討論 「ストーリーとプロット」「時間」
8. 学生による発表・討論 「語り手」「焦点化」
9. 学生による発表・討論 「性格描写」
10. 学生による発表・討論 「フェミニズム」「ジェンダー」
11. 学生による発表・討論 「イメージ」
12. 学生による発表・討論 「異化」
13. 学生による発表・討論 「声」
14. 終わりに 文学とは何か

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

【予習】 当日、発表の対象となる項目や作品について事前に読み、理解を深めておくこと。自身の発表担当までに必要事項を調査し、発表準備を行うこと。

【復習】 発表や討議で提示された複数の思考を検討しながら、自身の考えを深めること。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(30%) / 発表(40%) / 授業への積極的な取り組み(30%)

レポートは、演習で扱った理論を踏まえ自由にテキスト(小説、詩、映画など何でも可)を選び報告する。

#### テキスト(Textbooks)

1. 廣野由美子、2005、『批評理論入門「フランケンシュタイン」解剖講義』、中央公論新社 (ISBN:9784121017901)

演習では数編の短編小説をサンプルとして使用する(太宰治「女生徒」、芥川龍之介「藪の中」、夏目漱石「夢十夜」、葉山嘉樹

「セメント樽の中の手紙」、宮沢賢治「土神ときつね」を予定)。ガイダンスで担当を振り分けた上で決定する。

参考文献 (Readings)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

注意事項 (Notice)